

## 1. 日本常民文化研究所

神奈川県立日本常民文化研究所論集 33

歴史と民俗 33

平凡社（2017年2月22日発行）



### 特集「漁場図」を読む

【解題】特集「「漁場図」を読む」を編むにあたって（安室 知）

近世の「漁場図」から近代の「漁場図」へ

—島根県出雲国中海の「赤貝活かし」場利用を事例に（伊藤康宏）

『近江水産図譜』を読む—琵琶湖漁撈の構図（橋本道範）

近世末期「旧薩藩沿海漁場図」の構図と記載事項（橋村 修）

「漁場」図をめぐる漁民と行政の認識の齟齬

—新潟県中頸城郡における明治初期海面借区関係図をもとに（横山貴史）

韓国の漁撈民俗と漁場図—高興半島と濟州島の比較（李恵燕）

四つの漁場図からみた地域社会についての分析—山形県飛鳥の事例から（新垣夢乃）

「稲田養鯉図」を読む—明治の博覧会と「佐久鯉」をめぐる（安室 知）

なぜ「漁場図」は残ったか—神奈川県立日本常民文化研究所所蔵「漁業漁村関係影写絵図」について（越智信也・窪田涼子）

### 一般論考

戦前農村経済更生から現代農村再生へ—農村経済更生運動の歴史的教訓（森 武磨）

民具と化した古文書—養生文書の調査事例（泉 雅博）

米国の台湾占領に関する研究と政策の変化及びその影響について（蘇 瑤崇）

## 民具マンスリー

49巻1号（2016年4月10日発行）

明治時代後期における牛乳殺菌処理の導入と牛乳瓶（松本友里）

「明治の農具絵図」から—三枚羽根唐箕（二）巨摩型唐箕—（桂 眞幸）



49巻1号

49巻2号（2016年5月10日発行）

シン村の儀礼版画—伝統的版画製作と現在—（鍋田尚子）

### 【民具短信】

寛政七年の紀年銘のある唐箕（藤井裕之）

現代籠作り技術の起源—民俗考古学からの探究【五】（名久井文明）

国際研究フォーラム「Homo material—人と民具と暮らしの国際比較—」に参加して（岩野邦康）

49巻3号（2016年6月10日発行）

九谷焼九谷庄三作「農耕図大皿」の基礎的検討（中越康介）

### 【書籍紹介】

『歴史の立会人—昭和史の中の渋沢敬三』（佐野賢治）

DVDブック『甦る民俗映像—渋沢敬三と宮本馨太郎が撮った1930年代の日本・アジア』（鈴木通大）

49 卷 4 号 (2016 年 7 月 10 日発行)

澎湖諸島七美嶼における刺突漁具の変遷についての若干の考察

—漁撈史、環境史上の仮設の提示をめざして— (新垣夢乃)

「ろくろ」の名称について (小掠裕樹)

【民具短信】

現代籠作り技術の起源—民俗考古学からの探究【六】 (名久井文明)

49 卷 5 号 (2016 年 8 月 10 日発行)

民具の終焉の作法—澁澤敬三の民具観— その一 (小島瓔禮)

学校内歴史資料室の抱える課題—企画展「よみがえる学校の文化財」の開催によせて— (羽毛田智幸)

【民具短信】

学校内郷土学習室の調査と現状—千葉県市川市内公立小学校の事例— (三村宜敬)

【書籍紹介】

『もっと博物館が好きっ！—みんなと歩む学芸員—』 (磯本宏紀)

49 卷 6 号 (2016 年 9 月 10 日発行)

国登録有形民俗文化財「志摩半島の生産用具及び関連資料」について (崎川由美子)

西林忠八の早すぎた発明—明治一〇年発明の正条植用「田草取器械」— (桂 眞幸)

【民具短信】

硝子製の刃を持つ鯉節削り器 (松本友里)

49 卷 7 号 (2016 年 10 月 10 日発行)

民具の終焉の作法—澁澤敬三の民具観— その二 (小島瓔禮)

柳田民俗学における図像の資料的価値の検証—『風俗画報』と『年中行事図説』の比較から— (石井和帆)

【民具短信】

「進藤進氏 コレクション見学会」へ参加して (塚原順子)

49 卷 8 号 (2016 年 11 月 10 日発行)

和歌山県下における捕鯨活動—突きん棒漁業の操業実態— (今川 恵)

【民具短信】

新潟市所蔵の手回し脱穀機について—資料紹介編— (森 行人)

新潟市所蔵の手回し脱穀機について—考察編—新潟県下越地方平野部における脱穀機製造販売の動向 (岩野邦康)

実践民俗学 2 山村振興の計画書—山村という新たな価値— (杉山是清)

49 卷 9 号 (2016 年 12 月 10 日発行)

国登録有形民俗文化財—倉吉の千歯扱きと関連資料について— (関本明子)

民具の終焉の作法—澁澤敬三の民具観— その三 (小島瓔禮)

【民具短信】

岡山県笠岡市に伝わる江戸時代の京屋唐箕 (横田美香)

十津川村の丸窓唐箕について (吉見真理子)

【書籍紹介】

『飛行機、浦町、ディープなマチ場』 (宮本八恵子)

『八王子写真民俗誌』 (石井和帆)

49 卷 10 号 (2017 年 1 月 10 日発行)

青森県上北郡おいらせ町氣比神社の絵馬市

—絵馬市の抱える問題と購入者の求める絵馬の特徴に着目して— (三津山智香)

武蔵野美術大学 美術館・図書館 民俗資料室所蔵小絵馬コレクションについて (山口 拓)  
 月夜の船絵馬—資料紹介— (昆 政明)  
 「明治の農具絵図」概要一覧 (桂 眞幸)

#### 49 卷 11 号 (2017 年 2 月 10 日発行)

ムラ仕事の当番札—富山県南砺市椿の場合— (森 俊)  
 民具の終焉の作法—澁澤敬三の民具観— その四 (小島瓊禮)  
 鳥取県智頭町の黄連採集加工用具について (その一) (檜村賢二)

##### 【民具短信】

鍬の附属具 泥除けの名称について (佐々木長生)

#### 49 卷 12 号 (2017 年 3 月 10 日発行)

本州の社寺に奉納された明治期のイナウについて (今石みぎわ)  
 イクパスイにおけるイトクパを用いた地域特定の可能性 (中村 慧)

##### 【民具短信】

実践民俗学 3 アイヌの未来 (杉山是清)

##### 【書籍紹介】

『まちがやって来た—大正・昭和 大田区のまちづくり—』 (鈴木通大)

第 49 卷総目次

日本常民文化研究所 2016 年度活動報告より

### 神奈川大学日本常民文化研究所 共同研究「瀬戸内海の歴史民俗」 論集「瀬戸内海の歴史民俗」

(2016 年 11 月 30 日発行)

共同研究「瀬戸内海の歴史民俗」の成果論集。二神島の調査は、財団法人常民研時代に水産庁の委託事業「漁業制度資料調査保存事業」の一環として 1949 年に始まり、1982 年、神奈川大学に常民研招致後に調査が再開、2008 年より共同研究となった。本書は、これまで発表された論考に加え、断続的に進めてきた共同研究の集大成の一部を構成するものである。



#### I 論文

瀬戸内海二神家の近世的対応に関する試論 (田上 繁)

伊予二神島の近世—瀬戸内海における「島村」の形成— (関口博巨)

中世二神氏の様相 (萬井良大)

忽那諸島の蜜柑史—中島ミカンの近現代史— (森 武磨)

愛媛県二神島の漁業制度改革—筆写稿本「二神漁業協同組合文書」、及び写真集「二神漁業協同組合文書」(常民研現地調査撮影本)を読む— (鈴木江津子)

在来犁と牽引法から見た古代瀬戸内海地域の政治・社会動向 (河野通明)

島に吹く風—周防大島の民俗自然誌— (安室 知)

『ナショナルジオグラフィック』に描かれた二神島

—掲載記事「日本の村に暮らす」(一九七二年)とその周辺から— (古谷野洋子)

## II 再録

共同漁業権への依存度に関する調査——愛媛県温泉郡二神島——（河岡武春・網野善彦）  
海の領主——二神家と二神島——（網野善彦）  
再録解説（越智信也）

## III 調査・研究の軌跡

瀬戸内海二神島を中心とする日本常民文化研究所の調査・研究の軌跡（田上 繁）

神奈川大学日本常民文化研究所 所蔵資料目録  
二神司朗家文書目録（四）近代・現代編 3  
伊予国温泉郡二神村（愛媛県松山市二神）  
（2016年10月31日発行）

本編は、愛媛県松山市二神（旧伊予国温泉郡二神村・探訪時は愛媛県温泉郡中島町二神）に居住していた二神司朗家に伝わる「二神司朗家文書」の近代・現代編の目録である。本書には大正・昭和期の史料を収めた。  
（作成：田上 繁 関口博巨）



神奈川大学日本常民文化研究所調査報告 第25集  
河原田盛美における本草学的知識から  
近代勸業的実践の転換に関する研究  
（2017年2月28日発行）

国際常民文化研究機構第2期共同研究（奨励）の成果報告書。河原田盛美の沖縄経験と水産官僚としての活躍の両方に注目し、その実践と知識の両面にわたる継続と断絶を分析することで、近代日本における知識の変容と活用を明らかにすることを目的とした。論考8本と史料紹介1本を掲載、河原田文庫目録データのCD付。



### はじめに

——河原田研究班の成果と課題（2年間の軌跡を振り返って）——（高江洲昌哉）  
河原田盛美における「分類」の思想（高江洲昌哉）  
河原田盛美における知の姿  
——『沖縄物産志』の検討を中心に——（中林広一）  
河原田盛美による水産改良  
——水産巡回教師としての知識と方法を中心に——（中野 泰）  
河原田盛美の地方からの殖産興業（増田昭子）  
伊藤圭介から田中芳男に引き継がれた天産物研究構想（土井康弘）  
明治初期河原田盛美の来沖とその後の沖縄県における夜光貝等貝殻類利用の変遷（國吉まこも）  
鳥取の珊瑚細工（大嶋陽一）  
織物の文化と産業を生かす町をめざして  
——沖縄県南風原町の取り組み紹介——（平良次子）  
河原田盛美の島根県水産巡回指導書『水産製造概説』（伊藤康宏）

河原田盛美関係史料（辞令書・書簡）データ一覧

表1 河原田盛美 辞令書データ

表2 河原田盛美 書簡データ（暫定）

あとがき（泉水英計）

[附属 CD]

河原田文庫目録

水産研究・教育機構所蔵古文書目録——東京都・神奈川県・静岡県関係史料——

(2017年1月発行)

水産研究・教育機構古文書整理委託事業の2013年度～2014年度に行った「漁業制度資料」整理業務のうち東京都・神奈川県・静岡県関連史料について作成した目録である。

(作成：田島佳也 田上 繁 越智信也 織田洋行 岩田康志 萬井良大)



東京都・神奈川県・静岡県関係史料の関係図

東京都・神奈川県・静岡県関係史料群の来歴

東京都

- 1 坪田村役場文書目録 史料の概要と特色
- 2 坪田村漁業組合文書目録 史料の概要と特色

神奈川県

- 3 今井八郎家文書目録 史料の概要と特色

静岡県

- 4 瀧口猪之助家文書目録 史料の概要と特色
- 5 愛鷹丸鯉釣資料目録 史料の概要と特色
- 6 和田村史料目録 史料の概要と特色
- 7 伊東漁村史料目録 史料の概要と特色
- 8 伊達与兵衛家文書目録 史料の概要と特色

## 和船と海運——江戸時代横浜の<sup>ふな</sup>船路と和船のしくみ

横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所編  
横浜市歴史博物館・公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団  
神奈川大学日本常民文化研究所発行  
(2017年1月28日発行)

本書は横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所が共同で開催した  
展覧会「和船と海運」にあわせて出版されたものである。I部（横浜市歴史博  
物館会場の内容）では、江戸時代の横浜をめぐる海運・水運について紹介し、  
II部（主として神奈川大会場の内容）では弁才船を中心とした和船の構造・  
技術と変遷を検討している。



### I部 江戸時代横浜の船路

- 序章 横浜をめぐる水上交通
- 一章 上方からの航路と神奈川湊
- 二章 みちのく・蝦夷地と東廻り航路
- 三章 江戸と横浜
- 四章 房総との船路
- 五章 江戸川と横浜
- 六章 水上のシルクロード
- 終章 明治の和船と横浜

### II部 和船の構造と技術

- 一章 和船の移り変わり
  - 丸木船から構造船へ——
- 二章 和船の構造と航海技術
- 三章 和船の造船技術
- 四章 中国船の構造と造船技術
- 五章 和船研究の系譜
- 近藤和船研究所旧蔵資料（昆政明）
- 東廻り航路と神奈川湊
  - 八戸・石巻・平潟の史料から（吉崎雅規）



写真1 復元弁才船みちのく丸  
(青森県陸奥湾)



写真2 中国木造商船模型（10分の1）模型  
長270cm 製作 張国輝（光輝古船模工作室）  
神奈川大学日本常民文化研究所蔵

## 非文字資料研究センター

### 非文字資料研究 12

(2016年3月20日刊行)

- 城下町土浦の祇園祭と描かれたふたつの祭礼図  
 ——祭りの「記録」をめぐる—— (萩谷良太)
- 喜多方の農耕屏風——猪俣家蔵屏風を中心に—— (佐々木長生)
- 植民地期、旧朝鮮全羅南道済州島  
 (現・大韓民国済州特別自治道) に建てられた  
 13の神祠とその跡地について (諸葛衍・金泰順・渡邊奈津子・中島三千男)
- 華北農村における土地制度の変革による家族形態の変化 (王新艷)  
 ——山東省臨沂市平邑県武台鎮水溝村を事例に——
- 長崎県生月島堺目地区のかくれキリシタン信仰——多層的信仰の事例研究—— (小泉優莉菜)
- わが国戦前期の住宅の階段寸法に関する一考察  
 ——戦前期に建てられた重要文化財の住宅を対象として—— (古俣和将)
- 版画に描かれたモチーフとオンタオ儀礼——シン村オンタオ版画を中心に—— (鍋田尚子)



### 非文字資料研究 13

(2016年9月30日刊行)

- パリは移動祝祭日  
 ——18世紀パリの民衆的祝祭空間を中心に—— (熊谷謙介)
- 中国民俗摄影的现状与应解决的主要问题 (万建中)
- 论石邮帷神宗族化问题——以《开山》《纸钱》《雷公》为例—— (黄清喜)
- 台湾における日本時代の建築物を見る眼差し  
 ——近年なぜ神社の「復興」が目立つのか—— (武知正晃)
- 日本の敗戦後における旧南京神社の歩み  
 ——なぜ南京で社殿が壊されなかったのか—— (李百浩・松本康隆)
- 神奈川大学非文字資料研究センター 第二回公開研究会発表に関するコメント (上水流久彦)
- コメント及び戦後台湾における神社処分について (蔡錦堂)
- 福州神社跡地追加報告——創建当時に関する聞き取り調査について—— (渡邊奈津子)
- 近藤恒弘氏に天津日本租界での体験を聞く (栗原純・大里浩秋)



### 非文字資料研究センター News Letter No.36

(2016年9月30日刊行)

#### 2015年度 非文字資料研究センター 第1回公開研究会

『国際シンポジウム「帝国日本と台湾の眼差し——非文字資料の利用」』の開催報告 (孫安石)

#### 2015年度 非文字資料研究センター 第2回公開研究会

『台湾でなぜ神社の復興が見られるのか？』

中国・南京神社の社殿はなぜ壊されなかったのか？ (中島三千男)

#### 研究会報告

絵引研究のインパクト (富澤達三)



## 研究調査報告

- 中国・台湾・サイパン・シンガポールの神社跡地報告（稲宮康人）
- 九江・沙市・漢口の旧租界地を回っての報告（大里浩秋、孫安石、内田青蔵）

## 研究エッセイ

- パターンランゲージ試論（森住哲也）

## 連載 戦時下メディア研究報告

- 戦意高揚紙芝居コレクションにみる戦時下用語 「用語編」その4（原田 広）

## 招聘研究者レポート

- もし川が枯れてしまったら、魚は棲息し続けられるのか？  
——中日の伝統的な地方曲芸における生き残りの窮状について——（蘭暁敏）
- 日本の文化、現代美術、マンガ探究（Simonia Fukue Nakagawa）
- 民俗と生活——日本訪問時の見聞と感想——（鄧苗）
- 日本における「筆談」に関する調査（謝咏）
- 日本における初期の口演童話についての研究報告（Marine PENICAUD）

## 派遣研究者レポート

- 華東師範大学中国非物質文化遺産保護研究中心での訪問研究（王子成）
- バンクーバーにおける収蔵資料等の保存・修復について（平田茉莉子）
- フランス国立高等研究院東アジア文明研究センター訪問後記（王鶴）

---

## 非文字資料研究センター News Letter No.37

（2017年1月31日刊行）

### 2015年度非文字資料研究センター 第3回公開研究会

- 絵画にみる18世紀ヨーロッパの都市  
——『18世紀ヨーロッパ生活絵引』出版を記念して——  
（熊谷謙介・鳥越輝昭・ステファン・ブッヘンベルゲル・小松原由理・田中里奈）

### 2016年度非文字資料研究センター・国際シンポジウム

- 东亚視域下的非文字資料研究／東アジアにおける非文字資料研究（新垣夢乃）

### 2016年度神奈川大学・ブリティッシュコロンビア大学（UBC）共催シンポジウム

- 非文字資料と日本学・アジア学研究の新しい可能性に向けて（内田青蔵、窪田涼子、富澤達三）

## 研究会報告

- 租界班 第52回研究会 「京城『モダン』の地図を読む」（富井正憲）
- 租界班 第53回研究会 「連環画のおしゃべりな〈顔〉」（武田雅哉）

## 研究エッセイ

- 「言語景観」研究の可能性について——ことばと社会のインターフェイス——（彭国躍）
- 満洲における「神道」——代表的な人物を例として（エドワール・レリソン）

## 連載 戦時下メディア研究報告

- 戦意高揚紙芝居コレクションにみる戦時下用語 —— 「用語編」その5（原田 広）

